



ようやく少し寒くなりましたが、「暖冬」ですよ。とはいえ、新潟県中越地震で被災された方々にとっては例年以上に厳しい寒さの冬でしょうね。1日も早い復興をお祈りいたします。

1. 「元気企業ビジネスフェアNANTO」へブース出展しました。

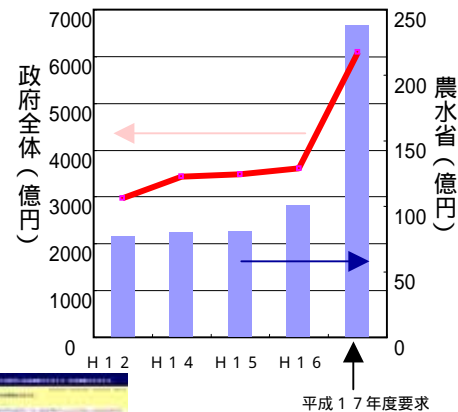
平成16年12月1 - 2日に大阪市中央区本町橋のマイドームおおさかで、「第3回元気企業ビジネスフェアNANTO」が開催されました。



今回は池田銀行（大阪府池田市）などが主催のビジネスマッチングフェアが階下で開催されたことで来場者が”回遊”、主催者発表の初日入場者数だけで約4300人にのびりました。昨年度も出展させていただいたこともあり、県内を中心とした122事業所さんの中では本学ブースに「休憩」を兼ねて立ち寄られる方もおられ少しづつ地域の中に大学が浸透してきたことを実感しました。また来場者さんも前年は「へえー奈良女子大学？何されているのですか？」という方が多かったのですが、今年は具体的な技術相談を持ち込まれる方が何人もおられたことが特徴的です。<岩井・吉田・高橋・藤野>

2. 「アグリビジネス創出フェア」へブース出展しました。

平成16年12月2日に大阪市北区中之島のグランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）で、「第1回アグリビジネスフェア」が開催されました。主催は 近畿アグリハイテク推進会議、近畿農政局、農林水産技術会議事務局、(独)生物系特定産業技術研究支援センター、(独)近畿中国四国農業研究センター、(社)農林水産先端技術産業振興センター、(社)農林水産技術情報協会、(財)食品産業センター の8機関です。当日行われた農水局よりの競争的資金の説明会会場は満員で関心の高さを知ることができました。<大石・佐藤・遊佐・藤野>



< 競争的資金の予算額 >



アグリビジネスフェアに出展したポスター（提供左より、井上教授×2、佐藤助教授、酒井助教授、遊佐助教授、植野教授）

< 農林水産省における競争的研究資金の概要 >

	事業名	開始年度	ねらい	研究費	H16年度採択
		H16予算額(H15)			(採択数/応募数)
法人が実施	新事業・新分野創出のための基礎研究推進事業	H 8 ~ 40億円(40億円)	基礎研究の推進	1億円 (農業・生物系特定産業技術研究機構から委託)	16/230 採択率 7.0%
	生物系産業創出のための異分野融合研究支援事業	H12 ~ 25億円(15億円)	新産業の創出 起業化の促進	5500万円 2600万円 (農業・生物系特定産業技術研究機構から委託)	13/90 採択率 14.4%
国が実施	民間結集型アグリビジネス創出技術開発事業	H14 ~ 6億円(6億円)	民間企業による 実用化研究	3000万円 (うち2/3を国から補助)	6/74 採択率 8.1%
	先端技術を活用した農林水産研究高度化事業	H14 ~ 30億円(20億円)	生産現場に密着した 試験研究の推進	5000万円 500 - 2000万円 (国から委託)	83/483 採択率 17.2%

異分野融合研究開発型：民間企業等を主体として大学、独立行政法人などで構成されるコンソーシアム(研究共同体)。1課題あたり年間5500万円、原則5年
起業化促進型：独創的な着想、プロトタイプ(試作品)開発や実証段階にある研究シーズを活かしてバイオベンチャー創出を目指す独立行政法人、民間企業等の研究者。1課題あたり年間2600万円、2年以内

事業の目的：生物機能を高度に利用した新技術・新分野を創出するため、幅広く提案を公募し、基礎的・独創的な研究を実施。
事業の内容：(独)農業・生物系特定産業技術研究機構が6つの基礎的研究分野について、独立行政法人、大学等から課題を公募し、外部委員による選考を行った上で、委託研究の形で実施。若手研究者支援型については39歳以下の若手研究者が対象。
対象となる研究分野：生物機能解明・生産性向上 高機能・高品質食品分野 生物系素材分野
生物機能利用による環境改善 工学・環境学的手法による生物機能向上分野 装置開発・ソフト開発等の共通基盤に関する研究分野
研究費、研究機関：1課題あたり年間1億円を上限、原則として3~5年間

募集要領の公表は平成16年度はH16.1.16に生物系特定産業技術研究支援センターのHPに掲載されました。

3. メールマガジン発刊します。



産学官連携推進室では、これまでのホームページ等による提供に加え、直接電子メールで情報提供する「産学官連携推進室メールマガジン」を発行することとなりました。原則として、隔週金曜日に発行いたします。現在、主に卒業生の方を対象とした「大学の今」を中心としたマガジンと、企業の方など一般の方を対象とした「連携推進室の活動や、イベント情報」の内容を中心としたマガジンの2種類を発刊すべく最終作業に入っています。<藤野>

4. 研究紹介集2004

お詫び：
研究紹介集2004のデータをご提出いただきありがとうございました。連携推進室からの「受け取り確認メール」が送付できておりませんが、冬休みを利用して作業する予定にしております。年明けに順次「最終掲載確認メール」をお出しいたします。

研究紹介集2004のデータに関して、『音信不通』の方がまだおられます。至急にコーディネーター藤野まで「データ送付」「遅延予定」「今年版と変更なし」などのご連絡をお願いします。

4. 今後の予定

平成17年2月14日



学内研究フォーラム開催
(「食と健康を科学する(仮題)」)

ご講演いただける先生方を募集しておりましたが、6名の先生方にご快諾いただきました。ありがとうございました。